

令和(7)年度 教科(国語) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを旨とする。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 思考力・表現力、主体性、自己有用感

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使おうとする。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力・表現力を養おうとする。
- (3) 言葉を通じて主体的に人と関わる中で自己有用感を高めたり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評価
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・定期テスト ・小テスト ・授業課題(スピーチ・レポートの技能等) ・行動観察	・定期テスト ・授業課題(スピーチ・レポートの内容等) ・授業ノート、ワークシート	・振り返りシート ・ワークシート ・提出物 ・行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

	学期	月	単元・教材名	小単元・学習内容(時数)	時数	他教科等との関連	
国語	1	4	詩	風の五線譜(1) 朗読の世界(3) 音声の働きや仕組み(1) 詩の心-発見の喜び(2)	1 4 7		
		5	1 言葉を楽しむ	詩の創作(3) 活字と書き文字・画数・筆順(1) 文法とは・言葉の単位(1)	9		
		6	2 思いを捉える	私たちの未来(4) 話の聞き方・質問の仕方(1) インタビュー(2) 音読み・訓読み(1)	15		
		7	D3 分かりやすく伝える	接続する語句・指示する語句(1) オオカミを見る目(4) 情報の分類・比較(1) 「食文化」のレポート(8) 国語の学習に関わる漢字(1) 語の意味と文脈(1) 平和のバトン(3)	3		
		9	4 展開をとらえる	さんちき(4) 場面と描写(1) 案内や報告の文章(3) 方言と共通語(1)	11		
		10	5 考えをまとめる	文の成分・連文節(2) 私のタンポポ研究(5) 意見と根拠(1) 「写真」の意見文(6) 漢字の部首(1) 月夜の浜辺(1)	13		
		11	6 伝統文化に親しむ	移り行く浦島太郎の物語(1) 伊曾保物語(2) 竹取物語(4) 矛盾(3)	11		
	2	12	D7 伝え方を考える	形の似た漢字(1) ニュースの見方を考えよう(5) 原因と結果(1) 「似ている言葉」スピーチ(5) 他教科で学ぶ漢字(1) お試し読書のすすめ(2)	12		
		1	D8 視点を変える	少年の日の思い出(6) 日常から生まれる随筆(7) グループディスカッション(6) 単語の分類(2)	22		
		2	詩	漢字の成り立ち(1)	2		
	3	3	未来への扉	私の中にも(2) 多様性と共生社会(3) 小学校6年の漢字(1) 学習を振り返ろう(3)	4 3		
		1	4	1 小学校の学習を振り返ろう	書写の学習の進め方(1)	1	
			5	2 楷書の書き方を確かめよう	点画の書き方字形の整え方(2) 仮名の書き方と字形(2) 文字の大きさと配列(2)	6	
	9		行書の書き方を学ぼう	情報を整理した書き方(1) 案内の手紙を書こう(1) 行書を書くときの動き(2)	9		
	10			点画の連続(2)			
11	点画の変化(2)						
2	12	年賀状を書こう(1)	4				
	3	1	書初めをしよう(1)				
		2	職場訪問をしよう(3)				
3							
総時数		140 時間					

令和(7)年度 教科(社会) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)身近な地域の地理、歴史や具体的な事象の学習を通して社会に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して分析し適切に表現する能力と態度を育てる。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	ペーパーテスト (定期テスト、小テスト) 課題提出(記録の整理、内容)	課題提出(記録の整理、内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	オリエンテーション 《地》世界と日本の姿	D 世界の姿(6) 日本の姿(7)	13	数学 特別の教科道徳 理科
	5	D《歴》歴史へのとびら	世界各地の人々の生活と環境(10)	10	
	6		歴史をとらえる見方・考え方(3)	11	
	7		身近な地域の歴史(8)	22	
8	《歴》古代までの日本	世界の古代文明と宗教のおこり(6)			
2	9	《地》世界の諸地域	日本列島の誕生と大陸の交流(4)	29	特別の教科道徳 理科 保健体育
	10		古代国家の歩みと東アジア世界(12)		
	11		D アジア州(7) ヨーロッパ州(5) アフリカ州(4)		
	12		北アメリカ州(5) 南アメリカ州(4) オセアニア州(4)		
3	1	《歴》中世の日本	D 武家政権の成立(8)	20	技術・家庭科 国語 国語
	2		ユーラシアの動きと武士の政治の展開(12)		
	3				
総時数		105時間			

令和(7)年度 教科(数学) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

基礎・基本の定着をはかり、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

事象を数理的に捉え、収集した情報を活用して、問題を自立的・協働的に解決しようとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上
評価方法	定期テスト 単元テスト 小テスト	定期テスト 休み明けテスト 小テスト レポート ワーク	定期テスト 休み明けテスト 小テスト レポート 提出物	2 20%以上 1 20%未満
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別評価度(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連	
1	4	0章 算数から数学へ 1章 数の世界を広げよう 「正負の数」	整数の性質(4) 正負の数(4) 加法と減法(8) 乗法と除法(10) 正負の数の利用(3)	4 25	理科	
	5					
	6	D2章 数学のことばを身につけよう 「文字と式」	文字を使った式(8) 文字式の計算(7) 文字式の利用(4)	19		
	7	3章 未知の数の求め方を考えよう 「方程式」	方程式とその解き方(10) 1次方程式の利用(7)	17		
2	8				理科	
	9	D4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう 「比例と反比例」	関数と比例・反比例(5) 比例の性質と調べ方(7) 反比例の性質と調べ方(6) 比例と反比例の利用(4)	22		
3	10				美術	
	11	5章 平面図形の見方をひろげよう 「平面図形」	図形の移動(6) 基本の作図(10) おうぎ形(2)	18		
	12					
	1	D6章 立体の見方をひろげよう 「空間図形」	いろいろな立体(3) 立体の見方と調べ方(10) 立体の体積と表面積(6)	19		
3	2	D7章 データを活用して判断しよう 「データの分析と活用」	データの整理と分析(5) データの活用(2) ことからの起こりやすさ(4)	11	社会	
	3	まとめ	まとめ(5)	5		
総時数		140時間				

令和(7)年度 教科(理科) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

自然の事物・現象に関り、理科の味方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力) 主体性・思考力・表現力・自己有用感

自然の事物・現象への理解と探究心を持ち、ICT 機器を活用し、科学的に説明しようとする。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 観察・実験レポート (記録の整理、資料の活用、記述内容) パフォーマンステスト	定期テスト 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) プレゼンの内容	振り返りシート 観察・実験レポート(記述内容) ワークシート(記述内容) 行動観察(発言、記述、行動内容)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	D いろいろな生物とその共通点	○生物の観察と分類のしかた(5)	27	特別の教科道徳
	5		○植物の分類(11)		
2	6	身のまわりの物質	○動物の分類(11)	29	技術・家庭科
	7		○身のまわりの物質とその性質(7)		
	8		○気体の性質(6)		
3	9	D 身のまわりの現象	○水溶液の性質(8)	24	特別の教科道徳
	10		○物質の姿と状態変化(8)		
	11		○光の世界(10)		
3	12	D 大地の変化	○音の世界(5)	25	社会
	1		○力の世界(9)		
	2		○火をふく大地(8)		
	3		○動き続ける大地(7)		
			○地層から読みとる大地の変化(10)		
総時数		105 時間			

令和(7)年度 教科(音楽) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる
- 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

自らが音楽への見方・考え方を働かせ、仲間と協働しながら、音楽や音楽文化に豊かにかかわろうとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・ペーパーテスト(定期テスト) ・技能テスト(歌や器楽テスト) ・行動観察(練習・取組の過程や内容)	・ペーパーテスト(定期テスト) ・ワークシート(記述内容) ・鑑賞の記録、レポート(記述内容)	・振り返りシート ・レポート(記述内容) ・ワーク(記述内容) ・行動観察(発言、記述、取組様子)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	題材名	教材名、学習内容(時数)	時数	他教科等(道徳)との関連		
1	4	仲間と明るい声で歌おう	○廿日市中学校校歌	4	美術		
	5	思いをこめて合唱しよう 曲の構成を理解して演奏しよう アルトリコーダの基本を身につけよう	○We'll Find The Way ○その先へ ○主人は冷たい土の中に ○聖者の行進 ○アルトリコーダ タンギング、低い音	4 4 3			
	6	Dイメージと音楽との関わりを感じ取ろう	○イメージと音楽	4			
	7	音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう	○春-第1楽章- ○My Melody	4			
	8		○Let's Create!				
	2	9	日本の歌のよさを表現しよう 曲想やパートの役割を感じ取って表現を工夫しよう	○赤とんぼ ○浜辺の歌 ○夢の世界を		4	国語
		10	合唱の喜びを感じながら歌い、合唱で心を通わせよう	○クラス合唱曲		8	特別の教科道徳
		11					
12		D曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう	○魔王	2			
3	1	和楽器に親しみ、基礎的な奏法を身につけよう	○箏でさくらを弾こう	5	社会(歴史)		
	2		○箏曲「六段の調」				
	3	D日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ろう 仲間とともに表情豊かに合唱しよう	○日本の民謡 ○アジアの諸民族の音楽 ○雅楽「平調 越天楽」 ○大切なもの他	4 3	社会(地理)		
総時数	45 時間						

令和(7)年度 教科(美術) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養おうと意識する
- (2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け意図に応じて創意工夫し、美しく表現する能力が発揮できるよう努力する
- (3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わおうとする鑑賞の眼が育つ

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	・作品(完成度) ・期末試験(記述問題) ・期末試験(実技問題)	・作品(アイデア) ・アイデアスケッチおよび下描 ・期末試験(実技問題)	・授業への取り組み ・提出物 ・授業態度	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	・オリエンテーション ・色彩を学ぶ ・画材研究 ・レタリング ・D 絵文字デザイン ・鑑賞	○図工と美術の違い	1	国語 国語 技術・家庭科 総合的な学習の時間
	5		○色の役割や効果を知る	2	
	6		○デザインセットの使い方を学ぶ	1	
	7		○彩色技法を学ぶ	4	
8	○モダンテクニックで表現の幅を広げる	3			
9	○明朝体とゴシック体をかく	2			
10	○楽しく伝わる絵文字をデザインする	9			
2	9	・D 鑑賞 ・デザイン ・鑑賞 ・木彫	○前期のまとめ	1	
	10		○ポスターの役割を学ぶ	1	
	11		○部活・学校紹介ポスター	4	
3	12	・鑑賞 ・木彫 ・デッサン ・D 工芸	○日本美術と宮島彫り(伝統工芸士)	1	
	1		○銘々皿に日本らしさを表現する	6	
	2		○牛乳パックのデッサンを描く	5	
	3		○大切な人に送るポップアップカードをつくる	4	
			○後期のまとめ	1	
総時数		45 時間			

令和(7)年度 教科(保健体育) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

合理的で安全な練習や活動の中で、自身の体の変化に気づき、身体表現としての技能を身につける。できる・わかるための課題を発見・解決する過程で仲間と協働し、主体的に学習に取り組む。

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度(5段階評定)
評価内容	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けているか。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付けているか。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養っているか。	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 実技テスト 学習ノート・ワークシート	定期テスト 振り返りカード・ワークシート 行動観察	振り返りカード・ワークシート 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元・教材名	小単元・学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	体づくり運動	○様々な体力を高めるための運動を行う	10	特別の教科道徳
	5	陸上競技(短距離走・リレー)	○競技会:グループ対抗、個人対抗	8	特別の教科道徳
	6	D 球技(ネット型) 保健(健康な生活と疾病の予防)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○健康の成り立ち、健康に関わる食事・運動・休養について考える	8 6	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
	7	水泳	○様々な泳法に挑戦する	5	理科
2	9	D 器械運動(マット運動)	○技を組み合わせてスムーズにつなげる	10	特別の教科道徳
	10	球技(ベースボール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	9	特別の教科道徳
	11	球技(ゴール型) 保健(心身の機能の発達と心の健康)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○心身の発達	9 5	特別の教科道徳 社会 理科 技術・家庭科
	12	陸上競技(長距離走)	○記録に挑戦する	9	特別の教科道徳
3	1	体育理論(スポーツの多様性)	○スポーツの始まりと発展、スポーツへの多様な関わり方、スポーツの学び方	3	特別の教科道徳
	2	ダンス 保健(心身の機能の発達と心の健康)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する ○心の健康	9 5	特別の教科道徳 社会 技術・家庭科
	3	D 球技(ゴール型)	○課題解決に向けて練習の仕方を工夫する	9	特別の教科道徳
総時数		105 時間			

令和(7)年度 教科(技術・家庭科 技術分野) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

材料と加工・生物育成の技術の基礎的な理解と、それらに係る技能を身に付け、課題を解決する力を養う

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート 小テスト 定期試験 製作品	ワークシート 設計図 定期試験 製作品	ワークシート 授業の振り返り 設計図 行動観察	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元、教材名	小単元、学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	D ガイダンス	①技術の役割 ②技術の見方・考え方 ③技術と生活・産業 ④技術とエネルギー・環境 ⑤技術の役割	4	社会
	5	D A 材料と加工の技術	1-1 生活や社会と材料と加工の技術 1-2 材料を利用するための技術 2-1 問題解決の手順 2-2 製作のための技能 3 これからの材料と加工の技術	1 5 5 12 3	数学
	6				
	7				
8					
2	9	D B 生物育成の技術	1-1 生活や社会と生物育成の技術 1-2 さまざまな生物育成の技術	1 4	理科
	10				
	11				
12					
3	1				
	2				
	3				
総時数	35時間				

令和（ 7 ）年度 教科（技術・家庭科 家庭分野） 第（ 1 ）学年 年間指導計画

【教科の目標】

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する

【教科のゴールイメージ】（つきたい力、資質・能力）

衣・住生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を主体的に身につけようとする

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト、小テスト） 作品 実技テスト	ワークシート（記述内容） ペーパーテスト（定期テスト） 長期休暇の課題 プレゼンの内容	振り返りシート ワークシート（記述内容） 行動観察（発言、記述、行動内容） 長期休暇の課題	
観点別到達度（%）	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合（%）	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元・教材名	小単元・学習内容（時数）	時数	他教科等との関連
1	4	Dガイダンス	ガイダンス	1	美術 特別の教科道徳 特別の教科道徳
	5	自分の成長と家族・家庭生活 衣服の選択と手入れ	①家族・家庭生活	1	
			①衣服の働き	2	
			②目的に応じた着用や個性を生かす着用	2	
			③衣服の手入れ	2	
			④衣服の計画的な活用	2	
	8		⑤衣服の選択	2	
	2	9	D生活を豊かにするための 布を用いた製作	①製作計画及び製作の工夫	
10		②布を用いた物の製作		10	
12		③持続可能な衣生活を目指して		2	理科 社会
3	1	住居の機能と安全な住まい方	①住居の基本的な機能	1	社会
	2		②家族の生活と住空間との関わり	1	
			③住まいと気候風土の関わり	1	
			④家族の安全を考えた住空間	2	
3	D生活の課題と実践	⑤持続可能な住生活を目指して	1		
			①衣生活・住生活を主とした課題と実践	3	
総時数		35 時間			

令和(7)年度 教科(英語) 第(1)学年 年間指導計画

【教科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成する

【教科のゴールイメージ】(つきたい力、資質・能力)

1. はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる
2. 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる
3. 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる
4. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる
5. 関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる

【評価の観点と評価方法】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	総合到達度 5段階評定
評価内容	既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか	各教科の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているか	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか	5 90%以上 4 80%以上 3 50%以上 2 20%以上 1 20%未満
評価方法	定期テスト 実技テスト(口頭・筆記)	定期テスト 実技テスト(口頭・筆記)	休み明けテスト(夏・冬) 小テスト(単語・定型表現) 実技(口頭・筆記) 提出物(ワークブック・授業プリント)	
観点別到達度(%)	A 80%以上 B 50%以上 C 50%未満			
観点別割合(%)	35%	35%	30%	

【学習計画】

学期	月	単元, 教材名	小単元, 学習内容(時数)	時数	他教科等との関連
1	4	Unit0 Nice to Meet You	○場面の表現、英語の音と文字	11	国語
	5	Unit1 Hello, Everyone!	○自己紹介、be 動詞、一般動詞、相づちの仕方	11	
	6	Unit2 Our New Teacher	○This [That, He, She] is ... ○Can you...?	10	
	7	Unit3 Our School	○疑問詞 What, Who, How, When, Where...? ○前置詞	10	
	8	Unit4 Friends in New Zealand D Stage Activity1 "All about Me" Poster	○How many...? ○命令文や(What+名詞 ...?) ○自分の好きなことなど、つながりのある文章を書くことができる。	10 6	
2	9	Unit5 My Brother in Hawaii	○三人称単数現在形	10	
	10	Unit6 A Rakugo Performer from the U.K.	○人称代名詞 ○Whose...? ○Which..., A or B?	10	
	11	Unit7 An Online Tour of the U.K.	○現在進行形 ○感嘆文(How...!, What...!)	10	
	12	Unit8 Think Globally, Act Locally D Stage Activity 2 My Hero	○不定詞、look+形容詞 ○好きな有名人や憧れの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	10 6	
3	1	Unit9 Winter Vacation	○一般動詞の過去形	10	
	2	Unit10 This Year's Memories D Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	○be 動詞の過去形 ○過去進行形 ○思い出に残った出来事について発表することができる。	10 6	
	3	1年間の総復習 ※必要であれば Let's Read を取り入れる。	○既習事項の総復習	10	
総時数		140時間			